

# 校長室の窓

大和町立小野小学校  
校長室だより No.49

平成29年12月22日（金）発行

## 日本の伝統的文化

明日から子供たちが楽しみにしている冬休みです。今日の2学期終業式では、冬休み期間の行事「日本の伝統的文化」について話をしました。

今日で、2学期が終わりです。2学期に学校に来た日は81日で、一番長い学期でした。3学期は学年によって違いますが、50日前後ですから、あっという間に終わってしまいますね。

校長先生が2学期で一番心に残っているのが「もみじの杜の小野っ子発表会」です。一人一人が頑張るとてもすてきな発表会になりました。どの学年もすばしかったのですが、特に6年生の発表は感動的でした。

3学期は短いです。あっという間に過ぎてしまいます。先日話した日野原重明先生は、「生きることは時間を大切にすること」と言っていましたね。3学期は時間を大切に過ごしてほしいと思います。

さて、明日から皆さんが楽しみにしている冬休みです。冬休みは日本の文化を学ぶとてもよい機会です。そこで、年末年始の日本の文化について、クイズ形式で話します。



【大掃除はなぜするの？】

年末に大掃除をしますね。なぜ大掃除をするのか不思議に思ったことはありませんか？ 去年校長先生はお年玉の意味を話しました。「年神様」の話でしたね。この年神様を気持ちよく迎えるために大掃除をするのです。門松やしめ縄を飾って「こちらですよ」と分かりやすくするのも、年神様を迎えるためなんですよ。

【年越しそばは、なぜ食べる？】

大晦日に年越しそばを食べるおうちがありますか？ これも地域によって食べる時間が違っていたり、具が違っていたりします。言い伝えで一番多いのが「蕎麦は細く長いことからいつまでも長生きできるようにと願った説」です。「そばは風雨に叩かれても、その後晴れて日光を浴びると元気になるので、元気になる縁起を担ぐ説」もあるようです。

【除夜の鐘は何回鳴りますか？】

大晦日の夜にお寺では「除夜の鐘」が鳴ります。回数は108回のところが多いそうです。人間には108の「悩みなど心が乱れること」があるそうです。その数だけ鐘をついて追い払うという意味があります。

【初詣は宮城県の方で何という？】

初詣は、東北地方太平洋側では「元朝参り」といいます。お正月に神社やお寺にお参りすることで、一年の感謝を捧げたり、新年の無事と平和・安全を祈願したりしてお参りするというものです。



【お正月に餅を食べるわけは？】

お正月にお餅を食べるおうちが多いと思います。特に宮城県は全国でも珍しいほど餅の種類が豊富な土地で、「藩主の伊達政宗の餅好きと関係がある」とも言われています。

餅は、まず年神様にお供えます。それを年神様とともに家族が食べることで、年神様の力にあやかることができるといのが餅を食べる理由です。宮城県では「あんこ餅」「ずんだ餅」「納豆餅」「えび餅」「ふすべ餅」「あめ餅」「くるみ餅」「磯辺餅」「お雑煮」などたくさんの種類があります。楽しみです。

今日は、クイズ形式で年末年始の行事を話しました。心を清らかにして、新たな気持ちで1年を始める、とてもいい伝統的な行事がたくさんあります。いい冬休みを過ごして、また3学期に元気に会いましょう。

私が子供の頃は、12月中に杵と臼で餅をつき、お正月は長方形の餅を焼いたものを「あんこ餅」「納豆餅」などにして食べました。正月のお昼は醤油と海苔の「磯辺餅」が定番でした。祖父が餅を「つき」、祖母が「こねたり、かえしたり」しました。そのリズムやタイミングが見事だったのが思い出されます。祖父母は夫婦喧嘩しても、餅つきのタイミングが狂うことはありませんでした（笑）。

学校とPTAとで共催している漢字検定には155名、算数検定には80名もの申込みがありました。年々申込みが増えていて、とてもうれしく思います。冬休みの「自主学习」にぴったりですね！

3年生の懇談会で「先日、3、4年生ぐらいの男の子が無灯火で自転車に乗っていたので『危ないから気を付けてね』と車から声を掛けたら『すみません。ありがとうございます。』と立派な返事が返ってきたので『さすが小野小学校！』と誇らしく思いました」という話があったそうです。指導をされたときの態度、すばらしいですね。

併せて「冬休み中の交通安全の声掛け」もよろしく願いいたします。皆様、よいお年を！